

8. 福祉・子育て

	タイトル	意見等
1	伊島で高齢者に対して介護予防に取り組みたい	7月から同じ思いを持った医療従事者と阿南市にある伊島で高齢者サロンを企画しています。 伊島の公民館で管理栄養士が考えた献立でお昼ご飯を提供し、少しでも多くの島民に外へ出て社会交流をしていただき、看護師・薬剤師・理学療法士・歯科医師・歯科衛生士らと身体機能や認知機能・栄養状態のアセスメントを行い介護予防に繋がりたいと思っています。 伊島では介護保険料を払っていても実際に利用できる介護サービスは福祉用具ぐらいしかなく、今回の企画を楽しみにしてくれています。 しかし、阿南保健所から伊島で食事を作って提供するには営業許可が必要で、伊島で食事を提供するたびに申請しなければダメだと言われました。 他の県では「福祉目的の食事提供行為における食品衛生管理指針」があり営利を目的としない場合には届出は必要ないとなっていますが徳島県では認められていないそうです。 できれば島の人たちが楽しみしてくれているので徳島県でも、福祉目的の食事提供行為における食品衛生管理指針で認めていただきたいと思います。 保健所の担当の方にどのようにしたら提供ができるのか助言を求めても門前払いで途方に暮れています。 私たちの願いが知事に届くことを祈っています。
2	子育て支援策について	県知事が変わってから特にそう言った支援策について耳にすることが無くなりました。前知事の時もなかったですが、今はホールや阿波踊り等の問題ばかりで嫌になってます。他県みたいに独自の出産祝い金の給付、オムツやミルクの無償宅配、保育料の全年齢無償化、出産費用の端数の上限はあれど助成、子育て世帯への独自の月々の支援、ベビーカーやチャイルドシートの貸出、購入時の費用助成などをされているところがありますが、徳島県は特に何もなく、むしろ、悪化。ニュースなどで議題にされているところを見るでもなく、一向にホールや阿波踊り問題から進展しないまま。子育てをするような魅力もなく、税金を無駄に払っているままで特に還元されているとも感じないので、他県への転職や引っ越しを考えています。流出を食い止める、少子化を防ぐような行動も見受けられず、のんきに適当に県政を行っているようにしか見えず、毎回イライラしています。そういった目先の問題に取り組んで欲しいですが、前述の通り、今後徳島県に住んでいてこういった他県のような子供達へ若者への支援は見込まれるのでしょうか？今のままであれば、無駄に税金を使われ、前述の通り、他県のような支援もないままなら、徳島県で子供を産み育てようと思えませんし、したくありません。せめて公約は実現して欲しいですが、過去当選された方は実際に行動に起こしていないですし、徳島県は言葉は悪いですが、出生率が下がっているのに何も行動を起こさない増税メガネと一緒に感じます。どうかして欲しいです。